

臨丸」に乗り込み渡米。以後、ヨーロッパ諸国も歴訪し、議会や郵便制度、銀行、病院、学校など旺盛な好奇心で見聞きを広めました。その後『西洋事情』『文明論之概略』『学問のすゝめ』などを続々と著し、世界と隔絶されていた当時の日本人を啓蒙していったのでした。

一万円札の肖像に

昭和59年から一万円札の肖像に登場し、その顔は日本の顔として、世界を舞台として広く知られるところです。中津はその福澤諭吉を育んだ街、私たちの誇る偉大な存在です。

進取の系譜

1835年(天保5年)【0歳】
天保5年12月12日(太陽暦1835年1月10日)、大阪堂島の玉江橋北詰にある中津藩蔵屋敷で生まれる。
1836年(天保7年)【1歳】
父百助死亡。母子6人藩地中津に帰る。
1854年(安政2年)【19歳】
兄三之助のすすめで蘭学を志して長崎へ出る。
1855年(安政3年)【20歳】
医者、蘭学者である大坂の緒方洪庵の適塾へ継ぐ。
1857年(安政4年)【21歳】
兄三之助が病死したために中津に帰り福澤家を継ぐ。
1858年(安政5年)【23歳】
藩命令で江戸へ出府、藩主奥平家の中屋敷に蘭学塾を開く。(慶應義塾の起源)
1859年(安政6年)【24歳】
横浜見物を契機に英学に転じ、独学でこれを修める。
1860年(万延元年)【25歳】
咸臨丸で従僕として渡米、帰朝後幕府の外国方に雇われる。同年8月に最初の著訳書『増訂華英通語』を刊行。
1862年(文久2年)【27歳】
遣欧使節団に随行して、ヨーロッパ各国をまわる。(フランス、イギリス、オランダ、プロシア、ロシア、ポルトガル)
1864年(元治元年)【29歳】
中津に帰り、小幡篤次郎ほか6人の中津藩子弟を伴い帰京。幕府翻訳方となる。
1866年(慶応2年)【31歳】
欧州諸国を廻り見聞きしたことをまとめた

『西洋事情』初編を刊行。
1867年(慶応3年)【32歳】
幕府の軍艦受取委員随員として再渡米。
1868年(慶応4年)【33歳】
時の年号にちなんで塾名を「慶應義塾」と定める9月改元、明治となる。
1870年(明治3年)【35歳】
中津に帰り母を伴って帰京。この時中津で「中津留別の書」を起草。
1871年(明治4年)【36歳】
中津市学校の開設に尽力。校長に小幡篤次郎を派遣。
1872年(明治5年)【37歳】
『学問のすゝめ』初編を刊行。(明治9年の17編で完結)
1875年(明治8年)【40歳】
三田演説館を開館。この年『文明論之概略』を刊行。
1878年(明治11年)【43歳】
東京芝区から東京府会議員に選出される。
1879年(明治12年)【44歳】
東京学士会院(現日本学士院)の初代会長に就任。『民情一新』、『国会論』を刊行。
1881年(明治14年)【46歳】
政変が起こり、参議大隈重信失脚。門下生も官界から追放される。
1890年(明治23年)【55歳】
慶應義塾に大学部を設け、文学、理財、法律の三科を置く。
1892年(明治25年)【57歳】
北里柴三郎を助けて伝染病研究所の設立に尽力する。
1894年(明治27年)【59歳】
耶馬溪の競秀峰が売却される事を耳にし、これを買収。自然保護の先駆といえる。
1897年(明治30年)【62歳】
『福翁百話』刊行。
1898年(明治31年)【63歳】
『福澤全集』全五巻刊行。脳出血症を発す。
1899年(明治32年)【64歳】
『福翁自伝』『女大学評論・新女大学』刊行。
1900年(明治33年)【65歳】
門下の高弟数名をして編纂させた「修身要領」を発表。多年にわたる著訳教育の功により皇室から、金5万円を下賜される。
1901年(明治34年)【66歳】
1月25日脳出血症再発。2月3日永眠。(文責：田原)

2007～2008年度



中津平成週報

国際ロータリー2720地区

中津平成ロータリークラブ

会 長	若 松 定 生
幹 事	榎 本 正 則
会報委員長	田 原 和 己

例会日／毎週木曜日 12:30

例会場／中津オリエンタルホテル ☎24-8111

事務局／〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

☎0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

メール／office@n-heisei.org

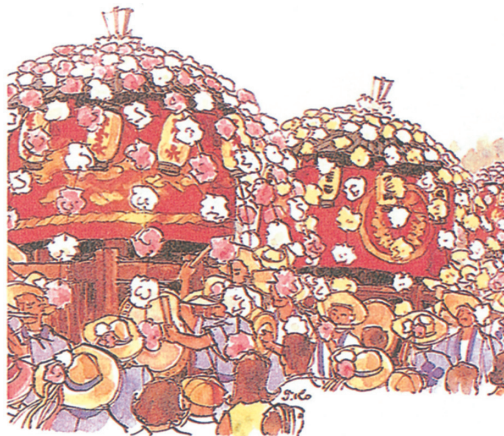
ホームページ／http://www.n-heisei.org/

2007～2008年度 国際ロータリー・テーマ

ロータリーは分かちあいの心

ROTARY SHARES

国際ロータリー会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン



第848回例会 平成19年8月9日(木)

◎本日の例会プログラム

○次回例会プログラム

納涼夜間例会 家族亭(焼肉) 18:30～

8/16 休会

8/23 ゲスト卓話「会員増強について」
RI2710地区パストガバナー 永富 稔氏

前回(847回例会)の記録 平成19年8月2日(木)

■ビジター

刈谷RC 霜出俱弘君

中津RC 佐藤正直君、出利葉康博君

■出席報告

会 員 数 26名

免 除 者 数 0名

対 象 者 数 26名

本日出席者 23名

欠 席 者 数 3名

出 席 率 88.46%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 3名

メイクアップ 1名

欠 席 者 2名

修正出席率 88.46%→ 92.31%

●メイクアップ

熊谷(中津RC)

●欠席者

矢頭、渡邊

ロータリーソング

君が代、奉仕の理想

会長の時間



会長 若松 定生

中津の旧市街では祇園祭もようやく終わり、当クラブの梶原会員も祇園協議会議長の重任を無事果たされ、誠にご苦労様でした。これからは本格的な暑い夏の到来です。この間にありました、第21回参議院選挙は自民党の惨敗に終わり局面が混迷しつつますます暑い季節へと進んでいくようです。

さて8月は会員増強及び拡大月間です。現在は増強の本当に難しい時期ですが、思い返してみますと、逆に楽だった時代があったか?とも考えています。やはり何より内側から固めていく事も大事な事の1つだと思います。ロータリーらしいものと言えば「四つのテスト」があります。ロータリー情報集より抜き書きますと

さて8月は会員増強及び拡大月間です。現在は増強の本当に難しい時期ですが、思い返してみますと、逆に楽だった時代があったか?とも考えています。やはり何より内側から固めていく事も大事な事の1つだと思います。ロータリーらしいものと言えば「四つのテスト」があります。ロータリー情報集より抜き書きますと

『四つのテスト The Four-Way Test

ロータリアンの行動の指針として推奨されているもので、「規則」として取り扱ってはならない。また、公共の人間関係をより高める場合を除いて、販売や利益を増すための広告に利用してはならない。

◎四つのテスト、言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

1932年ハーバート・テラーが倒産寸前の会社を救済する方法として創案したもので非常に効果的な方法であることが分かり、'43年1月RI理事会はロータリーに採用を決定、'46年テラーがロータリーの使用権を認め、'54年に著作権をRIに無償で移譲した。また'76年4月からRIの著作権は失効している。

そうです。ただ、私はこの四つのテストを日本語として理解していましたが、当然ながら原本は英文であり、英文は翻訳により翻訳者の考えにより微妙に変化する事は避けられません。PETSの折にこの「四つのテス

ト」の原文とこれに対する英語圏の人々の理解の解説がされ、分かり易いレジメが配付されたので本日お配りしました。その席上で、特に強調された事は「倒産しかかった会社のチェックシート的なもの」である事と「all concernedはすべての人では無い、単なる関係者の意味」という2点でした。どうぞ皆様も原文を再度読まれて理解を深めて下さい。

英語圏の人々の理解

THE 4-WAY TEST

of the things we think, say or do.

1. Is it the TRUTH?
2. Is it FAIR to all concerned?
3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIP?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?

「四つのテスト」

考え、発言、行動は、これに照らしてから・・・(企画・宣伝・実行は、これに照らしてから・・・)

1. 嘘・偽りはないか?
2. 関係者すべてに公平正大か? (・・・フェアか? / ・・・公平か?)
3. より良い支援者になってもらえるか? (支援を得られるか?)
4. 関係者すべてに有益となるか?

幹事報告



幹事 榎本 正則

- 例会変更 中津中央 RC 8/14休会。宇佐八幡RC 8/17休会。宇佐2001RC 8/8場所変更、8/15休会。大分キャピタルRC 8/15休会、8/22早朝例会の為変更。日出RC 8/14休会。豊後高田RC 8/14休会。

- 週報受理 なし
- 会報受理 なし
- 週報お礼 緒方パストガバナー、工藤パストガバナー、森田パストガバナーより。
- 幹事報告
- ・2006～2007年度ガバナー事務所閉鎖のお知らせ (2006～2007年度ガバナー)

- ・中津中央RCより9月度例会プログラム届く。
- ・2720地区より美里町水害、中越沖地震災害に対する義捐金のお願い。
- ・2009～2010年度ガバナーノミニーの指名決定のお知らせ
- 理事会報告 例会終了後、理事役員会

委員会報告

- ・IT・広報委員会 辛嶋委員長
ロータリーの友8月号が届いています。



- ・親睦委員会 田原委員長
来週の例会は納涼例会です。18:30～家族亭にて。



- 初盆のお知らせ
下記の会員は、今年初盆になっております。
・辛嶋 崇会員
・出納 皓雄会員

ニコニコボックス

担当：会員増強委員会

- ・刈谷RC 霜出俱弘君 (RI2760地区)
バナーをありがとうございました。刈谷RCは愛知県にあり、1954年に24名のチャーターメンバーにより創立されました。現在94名の会員がいます。



- ・辛嶋会員
園さんようこそおいで頂きました。



- ・小路会員
田原淳先生のシンポジウムが無事に終わりました。



- ・梶原会員
中津祇園が無事に終わりました。



- ・熊谷会員
経営革新で県の認証を受けました。



ゲスト卓話

「福澤諭吉先生の一生」
(財)福澤旧邸保存会
事務局長 園 憲一氏



『天は人の上に人を造らず 人の下に人を造らず』学問のすゝめより

福澤諭吉は、天保5年(1835)に大阪の中津藩蔵屋敷で、13石2人扶持の下士福澤百助の次男として生まれました。1歳6ヶ月の時父と死別し、母子6人で中津に帰郷。貧しいながらも信念を持った少年時代を過ごし、14歳になって儒学者白石照山の塾に入りました。

安政元年(1854)、19歳の時蘭学を志ざして長崎に游学、翌年からは大阪の緒方洪庵の適塾で勉強に励みました。安政5年(1858)には、中津藩の蘭学教師として江戸に上り、蘭学塾を開きました。これが後の慶應義塾のはじまりです。

西洋の語学力と知識をたくわえた諭吉は、万延元年(1860)渡米使節の従僕として「咸